

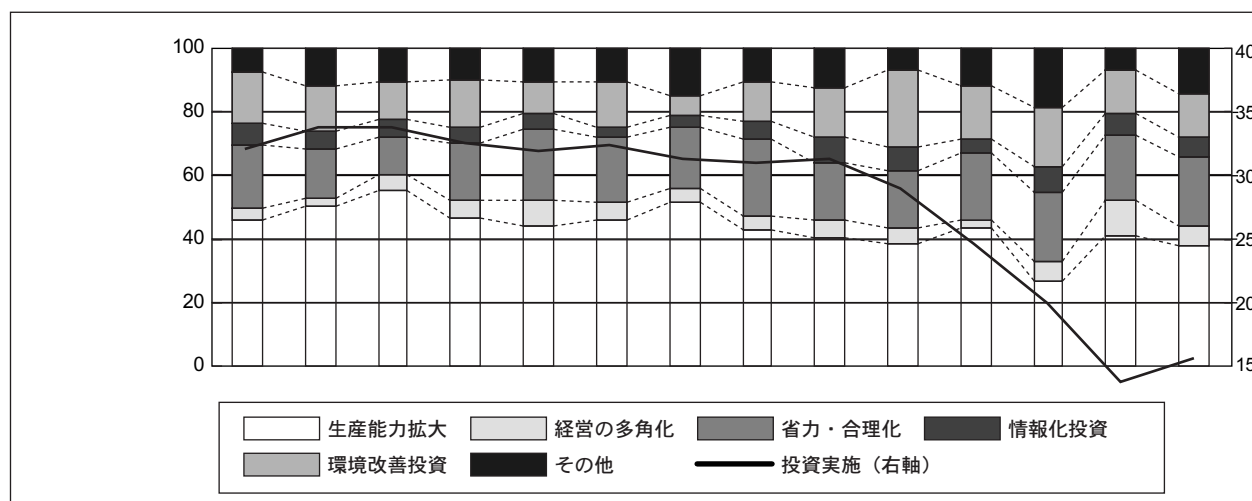
VI. 設備投資動向

設備投資の有無

期別 種別	(%)													
	18年				19年				20年				21年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
投資実施	32.0	33.7	33.7	32.4	31.8	32.2	31.4	30.9	31.1	28.8	24.4	19.8	13.6	15.5
投資せず	68.0	66.3	66.3	67.6	68.2	67.8	68.6	69.1	68.8	71.2	75.6	80.2	86.4	84.5

設備投資の目的（実施先について）

	(%)													
生産能力拡大	45.8	50.4	55.1	46.6	43.8	46.2	51.6	42.6	40.4	38.7	43.5	26.6	40.9	38.0
経営の多角化	3.8	2.2	5.1	5.3	8.5	5.4	4.1	4.9	5.3	4.7	2.4	6.3	11.4	6.0
省力・合理化	19.8	16.1	11.8	18.0	22.3	20.8	19.7	23.8	18.4	17.9	21.2	21.9	20.5	22.0
情報化投資	6.9	5.1	5.9	5.3	4.6	3.1	3.3	5.7	7.9	7.5	4.7	7.8	6.8	6.0
環境改善投資	16.0	14.6	11.8	15.0	10.0	13.8	6.6	12.3	15.8	24.5	16.5	18.8	13.6	14.0
その他	7.7	11.7	10.3	9.8	10.8	10.8	14.8	10.7	12.3	6.6	11.8	18.8	6.8	14.0



- (1) 20年10～12月に設備投資を実施した企業は全産業の19.8%であった。実施企業は減少している。先行きについても、減少見込であり、21年1～3月は13.5%と大幅減少する見込である。製造業では25.0%、非製造業15.0%が設備投資を行っている。

20年10～12月期に設備投資を実施した企業の投資目的は、生産・販売能力拡大が26.6%次に省力・合理化が21.9%と高いポイントとなった。環境改善を目的とする投資も増加している。

- (2) 先行き設備投資を予定している企業は、調査以来最低となっている。設備投資の目的は、生産能力の拡大が増加見込であり、省力・合理化も高くなっている。

20年10～12月期において設備投資実施企業の割合が高かった業種は、電子部品製造、運送業、繊維であった。先行きでは医薬品製造、窯業土石が設備投資を予定している。電子部品製造は、先行きでも設備投資を予定しているポイントは高い。